

春の生き物 ①生き物のようす

季節が春になり、あたたかくなってきましたね。生き物のようすは、冬のころとくらべてどのように変わっているでしょうか。

4年生の理科の学習では、1年間の生き物のようすの変化をかんさつしていきます。

沖洲小学校の生き物のようすを調べよう。

観察した日：4月27日（月）

観察した時刻：午後3時

気温：20℃

場所：沖洲小学校 学年園のまわり



【シロツメクサ】

シロツメクサを編むと花かんむりが作れます。



【アブラナ】

菜の花（なのはな）とも呼ばれる植物です。種から油を作ることができるので、アブラナという名前がつけられています。



【ナズナ】

ペンペン草とも呼ばれています。春の七草のひとつです。



【カワツザクラ】

1～2月ごろに花をさかせるサクラです。今は、緑色の葉をつけています。



【マテバシイ】

ドングリになる木です。今は、きみどり色の葉をつけています。
どんな形のドングリができるのかな？



教科書を見てみると、他にもさまざまな生き物たちのようすを知ることができますよ。また、教科書にのっているQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、鳥の鳴き声も聞くことができます。

春には、植物が花をさかせたり、虫や鳥などの動物が活動を始めたりしています。